

# ろっかしよ 議会だより



改装した議場で初定例会に臨む村議会議員

第22代議長に橋本猛一氏、第18代副議長に相内宏一氏就任 …… 2

新議員紹介 …… 3

第2回臨時会で新体制きまる …… 4

3月定例会 一般質問 村のここをどうする …… 6

平成 23 年度当初予算成立  
各会計総額は約 183 億 7000 万円 …… 10

第22代  
議長に橋本猛一氏

第18代  
副議長に相内宏一氏 就任



副議長  
相内宏一



議長  
橋本猛一

## 就任のあいさつ

# 『公平公正を基本に』

私どもは、このたび六ヶ所村議会議長並びに副議長に就任いたしました。私どもにとりましては身に余る光栄でありますとともに、改めてその任務の重大さに身の引き締まる思いであります。

本村は、古くから農業・漁業・酪農などの第一次産業を基幹産業として村の財政を支えてきたところですが、昭和44年5月新全国総合開発計画の閣議口頭了解を受け、むつ小川原開発を選択し、第一次産業と工業との調和を図りながら、むつ小川原開発地域への企業誘致を進めてまいりました。

現在は、日本の石油消費量約一週間分を備蓄しているむつ小川原石油備蓄基地をはじめ、国の原子力政策の要である原子燃料サイクル施設や国際的なプロジェクトとして進められているITER計画の幅広いアプローチ活動の展開拠点としてさまざまな研究施設の立地、さらには、世界初の蓄電池併設型風力発電など多種多様なエネルギー産業が集積しているところです。

近年、地球温暖化など世界的に環境問題が深刻化している中で、本村においても大型クラゲの異常発生や夏の猛暑が各種産業において大打撃を受けました。環境問題について真剣に取り組まなければならない時期が到来しているものと改めて認識させられた一方で、地球温暖化対策の一環として進められてきた原子力発電が、昨今の地震・津波の被害を受け発生した福島第一原子力発電所の事故の影響により、国のエネルギー政策の転換が余儀なくされている状況下となっております。

村議会としても、古くから村を支えてきた第一次産業のさらなる発展と安定経営に資するため、全力で対応するとともに、エネルギー関連企業が集積する本村にとって今後のエネルギー政策がどのような影響を及ぼすのか注視してまいりたいと思います。

結びに、議会の使命は、政策の最終決定、行財政運営などの評価・監視であります。本村の『長期的に安定した財政基盤の構築』・『恒久的な地域振興策』・『村内のインフラ整備の充実』、『第一次産業のさらなる振興』の4点を念頭におき、公平公正を基本とした議会運営に取り組んでまいりますので、村民の皆さまの深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 議員紹介

4月24日に行われた六ヶ所村議会議員選挙で当選した議員を紹介します。  
上から順に、氏名、年齢、当選回数、住所、電話番号、会派



橋本 猛一 (59)  
当選8回  
尾駮字野附 372  
72-2220  
一心会



三角 武男 (62)  
当選6回  
泊字川原 85-4  
77-2630  
六新会



中村 勉 (63)  
当選6回  
泊字焼山 40-3  
77-2106  
六新会



相内 宏一 (72)  
当選5回  
倉内字前谷地 52  
75-2405  
健政会



附田 義美 (67)  
当選5回  
尾駮字二又 23-2  
72-4000  
健政会



小泉 靖美 (58)  
当選5回  
倉内字笹崎 485  
74-2571  
一心会



橋本 隆春 (54)  
当選5回  
尾駮字野附 48  
72-2030  
健政会



松本 光明 (63)  
当選4回  
泊字焼山 584-2  
77-2571  
健政会



橋本 喜代二 (62)  
当選4回  
平沼字追館 32-6  
75-2108  
六新会



木村 常紀 (62)  
当選4回  
尾駮字野附 48  
72-2213  
六新会



小泉 勉 (59)  
当選4回  
倉内字笹崎 484  
74-2388  
六新会



岡山 勝廣 (62)  
当選3回  
倉内字笹崎 1031-11  
74-2133  
六新会



高橋 文雄 (57)  
当選3回  
尾駮字猿子沢 361  
72-2104  
六新会



木村 廣正 (62)  
当選2回  
倉内字谷地通 19-110  
75-2176  
健政会



鳥谷部 正行 (59)  
当選2回  
倉内字笹崎 551  
74-2329  
健政会



鳥山 義隆 (48)  
当選2回  
倉内字笹崎 287  
74-2826  
健政会



高田 博光 (53)  
当選1回  
鷹架字前田 25-1  
74-2668  
六新会



# 平成23年 第2回臨時会

# 新体制決まる

改選後、初めてとなる臨時会が5月12日に開かれ、議長に橋本猛一氏、副議長に相内宏一氏を選出したほか、各常任委員・議会運営委員の選任、特別委員会の設置および委員の選任等を行いました。

また、古川健治村長から提出された17件の一般会計および各特別会計ならびに条例などの専決処分や人事案件は、全て全会一致で承認・同意しました。

## 主な審議事項

●平成22年度補正予算  
一般会計および7特別会計を補正

年度末の事業費確定などによる補正を行ったもので、一般会計は約1億円を減額し、総額約135億2千万円

●条例改正等

関係法令施行令の改正に伴い「原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例」、「国民健康保険条例」、「国民健康保険税条例」の一部を改正。

●人事案件



高橋文雄氏  
を監査委員に選任

## 常任委員会等の構成

村議会には、3つの常任委員会と議会運営委員会が設置されています。各常任委員会では、請願・陳情等の審査を行うほか、所管事項の調査を行います。

### 総務企画常任委員会

主な所管事項は、村の総務部門、企画・防災部門、出納室、議会事務局、監査委員および他の委員会に属さないこと。

委員長	副委員長	委員
木村常紀	木村廣正	橋本猛一 鳥山義隆 高橋文雄

### 産業建設常任委員会

主な所管事項は、村の産業・建設部門、公営企業部門および農業委員会に関すること。

委員長	副委員長	委員
小泉勉	鳥谷部正行	中村勉 松本光明 小泉靖美 橋本喜代二

### 福祉教育常任委員会

主な所管事項は、村の福祉部門、教育委員会および選挙管理委員会に関すること。

委員長	副委員長	委員
橋本隆春	高田博光	三角武男 附田義美 相内宏一 岡山勝廣

### 議会運営委員会

議会の日程、請願・陳情等の取り扱いなど議会運営や議長の諮問に関すること。

委員長	副委員長	委員
橋本喜代二	松本光明	中村勉 橋本隆春 附田義美 木村常紀 小泉靖美 岡山勝廣



# 特別委員会

常任委員会と異なり、特定の事件の審査や調査を行うもので、必要と認めるときに議会で決定して設置します。

本臨時会では、橋本喜代二議員から『本村のむつ小川原開発区域に集積している企業は、村の基幹産業として、村の財政需要、地域振興策、雇用対策に大きく影響を与えてきたことから、本村の長期的発展と地域住民の安全・安心のため、将来的な企業誘致の進展や立地企業の安全対策等を調査する必要がある。』などの理由から、次のような提案があり、全会一致で決定しました。

- 1 名称 むつ小川原エネルギー対策特別委員会
- 2 目的 新むつ小川原開発基本計画の推進調査および立地企業の安全対策ならびに地域振興対策の調査
- 3 委員の定数 17人
- 4 期限 調査終了まで

## むつ小川原エネルギー対策特別委員会

委員長	副委員長	委員
三角武男	附田義美	中村勉 相内宏一 小泉靖美 橋本隆春 松本光明 橋本喜代二 木村常紀 小泉勉 岡山勝廣 高橋文雄 木村廣正 鳥谷部正行 鳥山義隆 高田博光

# 広報委員会

議会だよりの発行およびホームページによる議会広報に関すること。

委員長	副委員長	委員
木村廣正	岡山勝廣	鳥谷部正行 鳥山義隆 高田博光

# 一部事務組合議会議員

一部事務組合は、複数の普通地方公共団体が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織で、構成市町村議会議員で組織する議会がチェックします。

## 北部上北広域事務組合議会

高橋文雄  
鳥谷部正行

## 六ヶ所村消防委員

消防に関する重要事項を調査審議する村長の諮問機関で条例に基づき、議会から3人推薦します。

小泉靖美  
鳥山義隆

## 下北地域広域行政事務組合議会

中村勉

## 十和田地区食肉処理事務組合議会

木村廣正  
高田博光

## 監査委員

高橋文雄

## 上北地方教育福祉事務組合議会

橋本喜代二

※高田秀明氏から6月15日に辞職願が提出され、本会議で許可したことから、「総務企画常任委員会」「北部上北広域事務組合議会議員」「六ヶ所村消防委員」は1名欠員となっています。

## 村のこころをどうする？

### 7人の議員が村長の姿勢をただす

3月1日から11日まで11日間の会期で3月議会定例会を開催しました。  
 この定例会では、平成23年度の各会計当初予算、22年度補正予算、条例の制定・改正・廃止など村長提出議案31件、議員からは、六ヶ所村議会委員会条例の改正及び環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加に反対する意見書の提出に関する議員発議2件が提出されました。  
 すべての議案は全会一致で原案どおり決まりました。  
 また、8日の一般質問には、7人が登壇し、活発な議論を展開しました。

岡山勝廣 議員



顧客の要望に応じた区画販売できないか

尾駮レイクタウン北地区の宅地分譲は、一区画約100坪で販売しているが、顧客の要望に応じた面積を販売できないか。

古川健治 村長

第5期分譲地から検討したい

土地区画整理事業は、分譲開始前に区画を確定させる必要であるため、購入者の意向で自由に区画を変更し、販売するこ

とはできないが、事業完了後であれば、自由に合筆や分筆することが可能である。  
 平成25年度分譲予定の5期分譲地については、区画の面積に幅を持たせるなどの対応を検討してまいりたい。

岡山 議員

クリーンエネルギーを使用した住宅建設に助成できないか

風力や太陽光を利用したクリーンエネルギーを使った住宅を建設する際、村で建設費の一部を助成できないか。

古川 村長

段階的に取り組んでまいりたい

クリーンエネルギーを活用した住宅が建設されることは、魅力あ

る都市づくりにつながるが、住宅用太陽光発電システムの助成制度について段階的に取り組んでまいりたい。

岡山 議員

放課後児童指導員の採用基準を設けているのか

放課後児童指導員を採用するにあたって、どのような基準を設けているのか。また、指導員の資質向上のためにどんな方策を行っているのか。

古川 村長

人材登録バンクから子育て経験のあるものを選定

児童の安全かつ基本的な生活習慣の援助と自立に向けた手助けを行うために、ある程度子育て経験のある人を、村の人材登録バンクの中から選定している。

指導員を年2回、上北郡の指導員講習会へ派遣し、他地区の指導員との情報交換や保護者や地域との連携について指導の

機会を設けるとともに、年2回情報交換研修会を行っている。

橋本 勲 議員



TPPへの参加について、どのように考えているのか

国がTPPへ参加した場合、村の農林水産業への影響はないのか。また、この件について、本村の農業者団体などの考えを聞いているのか。

村長自身の認識はどうか。

古川 村長

関係機関・関係団体の動向を注視していきたい

TPP協定では、全品目について10年以内の関税撤廃が原則とされていることから、現状での国

の試算から推測すると、これまで関税により守られてきた米や畜産物などの輸入量が大幅に増加することが予想され、極めて大きな影響を受けるものと認識している。

昨年、ゆうき青森農業協同組合から「TPP交渉への参加阻止に関する陳情書」が提出され、意見交換をしたところであるが、近日中に県内農協統一行動でTPP参加への反対署名活動を実施すると伺っている。

本職としては、青森県町村会の定期総会で、TPP参加に対し明確に反対を表明することが決議されたところで、国の責任において、セーフティネットの構築をすることが重要であることから、引き続き関係機関、関係団体の動向を注視しながら対応していきたい。

橋本 議員

漁業被害、村長はどう認識しているのか

不漁、魚価の低迷に加え、燃油の高騰など、漁業経営を取り巻く環境は極めて厳しい状況

にあるが、村では把握しているのか。

また、六ヶ所村三漁業協同組合協議会の要望書によれば、二度にわたる強い低気圧の影響により、各漁場の定置網が甚大な被害を受け、一日も早い復旧を望んでいるとあるが、村長はどのように認識しているのか。

### 古川村長

**今後、被害状況を確定させ支援策を検討したい**

日ごろから組合長を初め漁協関係者と意見交換を行い現状把握に努めている。その中で、漁業経営の安定化を図ることを目的に、漁獲共済掛金の助成や災害資金の借り入れに対する利子助成などの漁業振興対策助成事業を実施している。

低気圧による漁業被害については、被害状況を把握すべく各漁協と協議したが、漁網などの被害状況を確定させるには、ある程度の時間が必要とされたため、被害状況が確定した時点で支援対策を検討したい。

### 橋本議員

**新幹線開通に伴う利便性向上にどう対応していくのか**

本村は、国家石油備蓄基地、原子燃料サイクル事業およびこれらに関連した企業が立地しているが、これらに勤務する職員が、ひと月にどのくらい利用しているのか。また、沿線の利用者から、不満の声が聞こえるようにとらえているのか。そして、利用者の利便性について、どのように対応していくつもりか。

### 古川村長

**関係機関に要望してまいる**

主な企業を調査したところ、1カ月平均45人の利用がされていた。利用者は、それぞれ利便性の良さを判断し、七戸十和田駅、八戸駅のいずれかを利用しているものと認識している。現在、青い森鉄道においては、利用者の要望などに対応し、列車の増発、時刻改正などの改善

を行っているところで、今後とも利用者の利便性向上に取り組んでいくと伺っている。

村としては、JR東日本、青い森鉄道に対し、利用者の声を反映し、利便性の向上に努めていただくよう要望してまいります。

また、国道および県道の整備促進を最重要課題ととらえ、村議会とともに国、県に対し強く要望してまいります。

### 橋本議員

**頓挫したクリスタルバレイ構想にどう対応していくのか**

倒産した㈱A I S職員の対応について、どのような状況になっているのか。県が会社を縮小して継承したい言っているが、その後どのように進展しているのか。破産宣告によって、本村が弁済を受けるような案件がないのか。「低炭素」は代替策ではないという意味は、どういうことか。

### 古川村長

**今後の動向を注視してまいりたい**

村では、破産申請に伴う村内従業員相談窓口を開設し、求人情報や国民健康保険加入に係る保険税減免などの対応をしてきたところで、離職された元従業員は、それぞれの住所を所管する公共職業安定所へ求職の手続きを行い、再就職のための活動を行っているものと考えられる。

後継企業については、貸工場の有効活用と雇用の確保などのため、所有者である財団法人21あおもり産業総合支援センターと連携しながら、貸工場を利用した事業展開を働きかけた結果、村内の相和物産㈱が後継企業と報道されたところである。同社の事業計画によると、順次事業を拡大していく内容になっている。破産によって村からの支払いが発生することはないが、村の債権としては、村税と水道料の一部債権がある。

なお、県に確認したところ、クリスタルバレイ構想は、むつ小川原開発およびその周辺地域へ新たにフラット・パネル・ディスプレイ関連産業を集積させることを目指したものであるのに対して、(仮称)低炭素型ものづくり産業振興策は、県内全域を対象とした新たな産業振興策を立案するものであることから、代替策ではないと伺っている。

村としては、今後の動向を注視してまいります。

### 種市敏美議員



**レイクタウン北地区の除雪態勢はどうなっているのか**

尾駈レイクタウン北地区の歩道の融雪対策・融雪方法・融雪範囲は

どのようになっているのか。

### 古川村長

**歩行者の往来の多い歩道に熱交換式を採用**

将来的に当該地区の歩行者の往来が多くなると想定される幹線道路沿いや小学校東側の道路等などの歩道に、平成18年度から地下に埋設したステンレス製パイプを利用し、地熱と地表面との熱交換により融雪するものを採用し設置している。

しかし、今年の冬は一定期間に集中して降雪し、当該地区の融雪設備では十分な効果を発揮できないところもあったことから、今後、小型の除雪機械などの導入を図り、歩道の確保に努めてまいります。

### 種市議員

**泊地区ふれあいセンターの運営状況はどうなっているのか**

泊地区のふれあいセンターの管理運営、利用者数、除雪対策、無料入浴



者の送迎はどのようなになっているのか。

### 古川村長

泊地区ふれあいセンターは、同施設職員と4人の浴場担当臨時職員で管理運営している。同施設は、4月から2月末までに5万4000人余りに利用されているところ、月平均4900人である。

除雪対策は、駐車場部分は、業者委託で機械除雪を行っており、屋根部分からの落雪は、人力除雪を依頼し、つららや雪庇(せっぴ)への対応は業者へ作業を委託している。

高齢者の送迎は、巡回バスは週2回、火曜日と木曜日に運行しているところ、同施設への乗降は、泊支所前である。利用者には不便をかけている状況であるが、道路改良などでバスの進入が可能になったら、敷地内まで送迎できるものと考えている。

### 高橋文雄議員



人材育成基金を子どもも海外体験学習事業に活用できないか

人材育成基金助成事業の平成22年度の実績および今後予定している対象事業にどんなものがあるのか。また、小中学校の海外体験学習事業を応募対象事業にできないか。

### 古川村長

人材育成基金事業では対象外としている

平成22年度事業実績は、専門的な知識の習得奨励事業として大学院生を対象に実施したところ、2件の応募があり、2件の応募者に約100万円の助成金の交付を決定した。23年度事業としては、これまでの実績事業を

継続するほか、「語学等留学」や「各種国家試験取得」「指導者の育成等学習する場支援」などの事業について実施に向けた具体的な検討を行っている。

なお、小中学生の海外体験学習事業は、教育の一環として、村の教育委員会において実施されている事業で、人材育成基金事業については、村の他の助成金等の交付対象となる事業を原則として除くものとしている。

### 高橋(文)議員

全ての事業に活用できる基金を創設できないか

全ての産業従事者が事業に活用できる基金の設置を早急に考えられないか。

### 古川村長

財源確保を含め対応策を検討したい

経営基盤の弱い中小の事業者が多い本村の状況を踏まえると、経営の近代化や施設整備、技術開発など、経営基盤の

強化を図る上でも各種事業に活用できるような基金の創設ができないか工夫しているところで、財源の確保を含め対応策を検討してまいりたい。

### 古泊 宏議員



昆布など海藻や植物プランクトンの増殖などといった海の森づくりを提案してはいいかがか

青森県において、本年1月に「低炭素型ものづくり産業」の振興に向けた産業推進検討委員会が設置され、7月にも指針を策定するとしているが、昨年から行われている基礎調査なども含め県からの情報提供などあったのかどうか。

光合成生物としての森林の育成保護や昆布など海藻や植物プランクトンの増殖などと

いった海の森づくりを進めることで、低炭素型ものづくりが可能となる。これは農林漁業の現場に働く人にとって、まさに第一次産業や第二次産業の振興を意味することで、高度な知識や技術がなくとも実践できることから、県の推進検討委員会に提案してみてもいいか。

また、村としても本格的な事業展開をするべきと思うがいかがか。

### 古川村長

パブリックコメント手続きを利用するのも一つの方法である

県独自の委員会のため、情報提供はなかったが、担当課から県にお願いし、会議資料等をいただいたところである。

会議資料によると委員会が創出を目指す「低炭素型ものづくり産業」は、技術開発や事業化など低炭素社会に貢献する新産業の集積をイメージしているようで、最終指針の取りまとめの前段として、パブリックコメント手続きを実施する予定であると伺っているの

で、その機会を利用されることも一つの方法かと思う。

なお、村としての本格的な事業展開については、具体的に事業を実施するための課題把握や関係機関との調整が必要になることから、担当課に検討するよう指示したところである。

### 高橋源藏議員



余裕深度処分の今後の計画は

日本原燃(株)で余裕深度処分に関する調査を行った経緯があるが、今後の計画はどのようなになっているのか。

古川村長

具体的な計画はない

平成18年3月に本格調査を終了した試験空洞において、地下水や空洞の変形などの計測を継続して行っており、今後の計画は具体的にない。

現在、国の委託を受けた公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センターが、地下空洞型処分施設の施工方法や施工に関する技術確認のための試験を実施中である。

高橋（源）議員

RI（ラジオアイソトープ）廃棄物についてどのように取り組むつもりか

新むつ小川原開発対策特別委員会が岩手県滝沢村にある日本アイソトープ協会の視察し、同協会が管理しているRI廃棄物の管理状況などについて視察研修し報告しているが、行政としては、このことについてどのように取り組んで行こうとしているのか。

古川村長

情報収集しながら慎重に対処していく

新むつ小川原開発対策特別委員会の報告も踏まえ、研究施設等廃棄物処理処分施設に関する交付金制度や雇用問題などの地域振興策が具体的に示されていないことに加え、誘致活動を行っている市町村などの動向にも注視しつつ、メリットやデメリットなども含め、引き続き情報収集を行いながら、慎重に対処していく。

高橋（源）議員

交換した廃棄物の放射能濃度の数値を示せ

単一返還廃棄物については、村長の英断により英国の提案を受けることにしたが、この交換した廃棄物の放射能濃度（半減期も含め）の数値を示せ。

古川村長

人体への影響が同等になるよう評価している

単一返還は、単純に現時点での放射能で計算するのではなく、人体への放射能の影響を、経年的な減衰を加味し、積算して評価を行う累積影響度指数という方法を用いて計算を行い、高レベル放射性廃棄物と低レベル放射性廃棄物による影響が同等となるように評価している。

高橋（源）議員

一時貯蔵期間を守れると思っっているか

高レベル放射性廃棄物の一時貯蔵期間は、30年から50年となっているが、これを守れると思っっているか。

古川村長

国の責任で処分地が確保される

最終処分地問題については、機会あるごとに国に対し、国が前面に立って早期選定に努

鳥山義隆議員



連絡道路網の整備をどう考える

新幹線の開業により、連絡道路網の不備が指摘されているが、その対応策についてどのように考えているのか。

古川村長

最重要課題として関係機関に強く要望していく

本村から七戸十和田駅までの道路路線は、国道394号または国道279号を経由して、国道4号に接続する2路線が考えられるが、国道および県道の整備促進を最重要課題ととらえ、議会とともに引き続き、国、県に対し強く要望する。併せて「エネルギーの道・国道338号整備促進期成同盟会」「国道394号

整備促進期成同盟会」などとともにあらゆる機会を通して働きかけていく。

鳥山議員

人事管理をどのように行っているのか

村長が掲げる施策の執行には、職員の力によるところが大きいと考えられるが、最近、長期療養中の職員もいると伺っているが、職員の人事管理は、どのように行っているのか。

古川村長

村民の福祉増進のため適切な管理に努めている

村民の福祉の増進を実現するため、職員一人一人の能力や適正、健康管理など適切な人事管理に努めている。今後とも、職員の自己管理意識の向上を促進するため、安全衛生管理体制の充実強化に努め、職員の健康を確保し、人事行政の円滑な運営を図り、最大の目的である村民サービスの向上に努めてまいりたい。



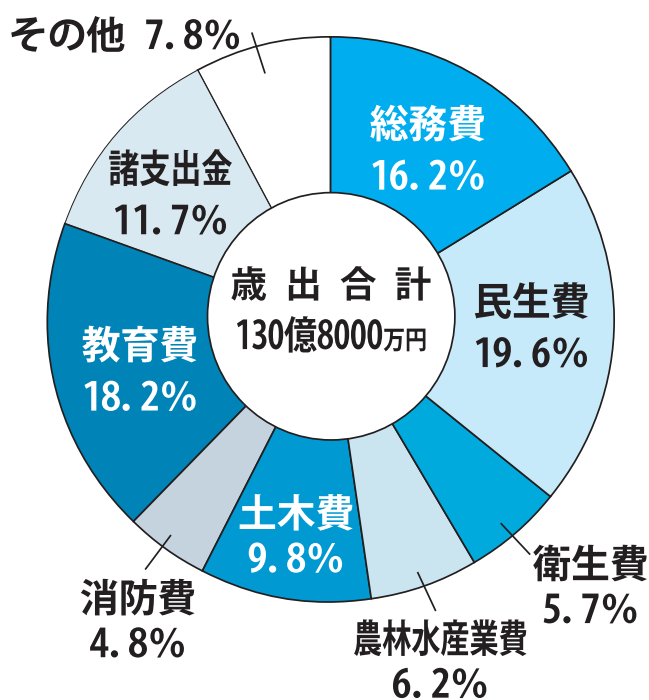
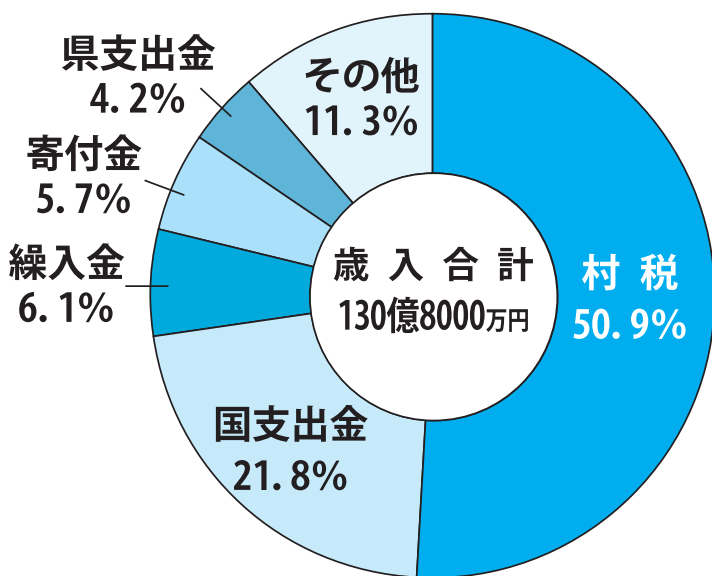
# 3億7000万円

前年度比4.1%減

## 平成23年度各会計当初予算の状況

会計	本年度予算額	前年度予算額	比較
一般	130億8000万円	140億6000万円	▲9億8000万円
国保(事業勘定)	12億6157万6千円	12億7256万6千円	▲1099万円
老人保健	—	40万1千円	▲40万1千円
後期高齢者医療	5878万3千円	5493万4千円	384万9千円
国保(尾駿診)	6億5505万4千円	5億5196万3千円	1億039万1千円
国保(千歳平診)	8864万4千円	8772万6千円	91万8千円
介護保険	8億9548万3千円	8億6001万3千円	3547万円
定住促進	2520万2千円	1億2687万2千円	▲1億167万円
土地区画整理	6億6922万3千円	3億6694万3千円	3億028万円
水道	3億6135万4千円	4億7461万2千円	▲1億1325万8千円
農業集落排水	1億1631万7千円	1億1945万7千円	▲314万円
下水道	11億6427万円	11億7627万4千円	▲1200万4千円
合計	183億7590万6千円	191億5176万1千円	▲7億7585万5千円

## 平成23年度一般会計歳入歳出構成図表





平成23年度  
当初予算が成立

# 各会計総額は18

一般会計は130億8000万円

前年度比  
7.0%減

歳入 自主財源 約89億7000万円  
うち固定資産税 約58億

歳出 ◆漁業振興対策 約2億3600万円

村内3漁協への助成および泊漁協への漁業振興対策助成

◆(仮称)総合医療福祉施設整備 約10億9500万円

尾駮レイクタウン北地区周辺への整備に向けた測量、地質調査、外構設計、整備基金積立

◆倉内・平沼小学校整備事業 約10億7700万円

2校統合の新校舎および講堂の建設費等

◆除雪対策 約1億4000万円

村内全域の村道などの除雪、防雪柵設置、融雪剤散布等

◆尾駮レイクタウン北土地区画整備 約2億6000万円

尾駮レイクタウン北地区5期分譲地を整備するもので、約5.5ヘクタールを造成

歳入は、自主財源※1の要である村税収入が約66億5000万円と全体の約51%となっています。

歳出は、任意的経費※2のうち、道路や公共施設の建設に要する普通建設事業費が大幅に減少したことから前年度比7.0%減の約130億8000万円となっています。

任意的経費は約102億7600万円で、主な新規事業は次のとおりです。

●『夢と活力のある産業づくり』

畜産担い手育成総合整備事業に	約1億8,000万円
長芋洗浄選別・貯蔵施設整備事業に	約1,600万円
漁業振興対策助成事業に	約2億3,600万円
消費拡大助成補助金事業に	約650万円

●『災害の憂いをなくす安全づくり』

防犯灯設置事業に	約450万円
防災無線設置事業に	約480万円

●『大切な自然を守る環境づくり』

家庭ごみ収集運搬事業に	約5,600万円
出戸川河川改修事業に	約1,100万円

●『個性あふれる人・文化づくり』

倉内・平沼小学校統合整備事業に	約10億7,700万円
郷土館改修事業に	約5,600万円
通学バス運行委託事業に	約5,400万円

●『誰もが豊かに暮らせる健康づくり』

入浴施設利用者補助金	約1,400万円
(仮称)総合医療福祉施設整備事業に	約10億9,500万円
温泉施設改修事業に	約2億5,300万円

●『快適な暮らしを創る都市づくり』

地域情報基盤運営事業に	約3,800万円
除雪対策事業に	約1億4,000万円
尾駮レイクタウン北土地区画整備事業に	約2億6,000万円

<一口メモ>

※1 自主財源とは 村税や使用料などのように村が自主的に収入することができるお金が自主財源で、この割合が多いほど、村は自主的に仕事をすることができます。  
反対に、補助金や交付金など国や県の意思により定められた額が割り当てられて収入するお金や借金のことを依存財源といいます。

※2 任意的経費とは 道路や公園・学校など社会資本を整備するための経費で、将来に残るものに支出される経費です。国から補助金を受けて行う補助事業と、村が単独で行う単独事業などがあります。  
それに対し、人件費、扶助費、公債費など支出が義務付けられ、簡単に減らすことができない義務的経費があります。



# 自治功労章受賞



この表彰は、長年にわたり議会活動などを通じて地方自治の進展に大きな役割を果たした功績と貢献に対し贈られたもの。

- 県表彰：(町村議会議員として19年以上在職)  
三角武男
- 全国表彰：(同15年以上在職)  
相内宏一、附田義美、種市敏美、小泉靖美、橋本隆春
- 県表彰：(同11年以上在職)  
橋本勲、松本光明、橋本喜代二、木村常紀、小泉勉

議会を監視するのは『あなた』です。  
3月定例会の傍聴人は36人でした。  
あなたも議会の傍聴をしてみませんか。  
傍聴は村政を知る良い機会です。

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。  
臨時会は必要に応じて開催されます。  
詳しくは議会事務局 72-2111 (内線411または412) へお尋ねください。



私達が広報委員です

## 編集後記

このたび、広報委員に就任いたしました。

本委員会は、本誌およびホームページによる議会広報に関することを所管する委員会です。

六ヶ所村議の活動を広く村民に知らせ、村政に対する理解と協力を得るために議会広報を発刊し4年の歳月が経過しました。

その間、村民の視点に立ち、「より分かりやすく」、「より充実」した広報誌作成に努めてまいりました。

今後、村民の皆さまのご意見、ご指導を賜りながら、さらなる充実を目指すとともに、ホームページの充実にも努めてまいりたいと考えておりますので、これまで同様、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆さんご承知のとおり、同僚議員が公職選挙法違反等の疑いで逮捕されたことを受け、発行が遅れたことを深くお詫び申し上げます。

- 広報委員長 木村 廣 正
- 同副委員長 岡山 勝 廣
- 同委員 鳥谷部 正 行
- 鳥山 義 隆
- 高田 博 光